

「外国人も働きやすく、住みやすいまちづくりの実現」

～三重県桑名市との包括連携協定による高度外国人材採用第1号～

25.02.17

海外トップ大学での日本語学習などを通じ、日本への就職のきっかけを学生に提供する株式会社ASIA to JAPAN(代表:三瓶雅人 本社:東京都台東区 以下:ASIA to JAPAN)は、昨年、三重県桑名市と「外国人も働きやすく、住みやすいまちづくりの実現」に向けた包括連携協定を締結し、本年2月に同市に本社を置く扶桑工機株式会社(代表取締役社長:服部 岳 以下:扶桑工機)において協定締結後第1号となる高度外国人材の採用が決定した事を記念し、伊藤徳宇桑名市長、服部社長との三者懇談会を開催致しました。

懇談会では「外国人も働きやすく、住みやすいまちづくりを目指して」といったテーマで三者それぞれの視点からプレゼンテーションを行い、目標の実現に向けた取り組みなどを紹介するとともに、更に力強く推進していくことを確認しております。



外国人雇用に関する企業向けセミナー 及び個別相談会を開催します

25.06.03

三重県地域活性化雇用創造プロジェクトでは《外国人受入体制構築事業》として、県内企業における外国人材の確保・育成を目的に、外国人材の採用・活躍ノウハウの提供、労働関係法令等に関するセミナー、および個別相談会を開催し、外国人材の受入・定着に必要な環境整備を支援します。

厚生労働省採択事業 令和7年度 三重県地域活性化雇用創造プロジェクト
A6《外国人受入体制構築事業》 

外国人雇用セミナー & 個別相談会

県内企業における外国人材の確保・育成を目的に、外国人材の採用・活躍ノウハウの提供、労働関係法令等に関するセミナー、および個別相談会を開催し、外国人材の受入・定着に必要な環境整備を支援します。

外国人雇用セミナー

オンライン 無料

「外国人雇用の最新情報と定着・戦力化への取組み」について分かり易く解説します

第1回	7月10日(木)	【在留資格・国籍別】はじめての外国人採用のポイント ～外国人受入のための支援団体の選定や受入費用など～
第2回	9月19日(金)	外国人労働者の労務管理 ～社会保険、税務、出入国管理、職場定着のポイント～
第3回	10月24日(金)	外国人留学生の新卒採用と中途(既卒者)採用 ～専門学校、大学、大学院卒を中心に～
第4回	12月5日(金)	【法改正】特定技能外国人の「職種別」受け入れ方法 ～建設業、製造業、介護、農林水産業など～
第5回	R8年2月13日(金)	【新制度】「育成就労」の概要と注意点 ～技能実習廃止前に行なっておきたい体制整備～

個別相談会

オンライン 無料

外国人雇用に関する人事担当者の悩みや困りごとをお聞きし、プロが助言します

開催日時：上記セミナー終了後 15:30～17:00
相談時間：1社あたり30分、各回3社以内【予約優先】



【講師・相談員 紹介】 **ブリック労働法務事務所 代表 橋本 裕介 氏**
特定社会保険労務士・特定行政書士

一般社団法人国際労働法務協会（特定技能外国人登録支援機関） 代表理事
梅花女子大学 大手前短期大学 非常勤講師
大手金融機関、厚生労働省、日本年金機構本部 勤務を経て現職
企業や自治体への講演・研修講師のほか外国人労働者雇用の労務管理や出入国管理手続き等を幅広く手掛ける
著書：「外国人雇用書式・手続きマニュアル」（2020年 日本法令）

【主催】公益財団法人三重県産業支援センター、三重県
【後援】三重県商工会議所連合会、三重県商工会連合会、三重県中小企業団体中央会
【お問合せ】三重県産業支援センター（担当：西）TEL:059-253-1260 E-mail:chipro-gaikoku@miesc.or.jp

<https://www.pref.mie.lg.jp/TOPICS/m0360600066.htm>

ベトナム総領事館主催 「ベトナム人材受け入れに関する交流会」の開催について

25.06.13

四日市商工会議所では、三重県、四日市市、三十三銀行、三十三総研、ジェトロ三重と共に、
在大阪ベトナム総領事館主催事業「三重県ベトナム人受け入れに関する交流会」を開催いたします。

少子高齢化が進む中、人手不足を課題とする企業は増加しており、外国人材の受け入れが注目されています。本交流会では、ベトナムと日本の人材協力の展望を総領事館からご説明いただきます。
また、外国人材の在留資格や採用に関する制度、受け入れまでの流れや手続きについても学べる内容となっております。

さらに、ベトナム人材を受け入れている企業や日本で働くベトナム人から、現場の生の声を聴く貴重な機会を提供します。

「技能実習生、日本語や日本文化を学ぶ気ない」 三重県いなべ市長、県への要望席上で発言

2025.10.03

三重県いなべ市の日沖靖市長が3日、県庁であった県に対する要望活動の席上、外国人の技能実習生について「日本語や日本の文化を学ぼうという気がない」と発言した。一見勝之知事はその後の定例会見で、こうした発言について「技能実習生が一般に日本語を学ぶ姿勢がないということはなく、必ずしも正解な言い方ではない」と指摘した。同日は県北勢地域の市町長10人が要望に訪れ、一人ずつ発言。日沖市長は多文化共生施策を取り上げ、外国人に関し永住権を持った人は日本の習慣を学ぶことなどに「積極的」と述べた。続けて、技能実習生は「日本語を学ぼうとか、日本の文化を学ぼうとか、そういう気は、申し訳ないですけど、ものすごくございません」と語った。



外国人政策国に対応求める 知事会議 三重・一見知事「メッセージ必要」

2025.07.25

三重県の一見勝之知事は23、24両日、青森市で開かれた全国知事会議に出席し、参院選で争点の一つとなった外国人政策について「漠然とした不安を抱える人が多い中、国からのメッセージが必要」と政府に対応を求めた。三重県内では東南アジアからの技能実習生の増加に伴い、昨年1月時点の県人口に占める外国人は3・56%で、全国4位となっている。一見知事は23日の多文化共生に関する分科会で「外国人材なしに、三重も日本も経済は回らない」と指摘。他の知事からは「人手不足を背景とした外国人材の必要性が社会に認識されていない」との声も出たため、全国知事会は今後、声明を出すことも検討する。



中日新聞

外国人に対する漠然とした不安がある」三重..

三重県では「知識確認」の合格率87.6%→34.4%に 「外免切替」の厳格化で合格率が激減... 2025.11.27

外国の運転免許証を日本の免許に切り替える、いわゆる「外免切替」の条件について先月から厳格化が行われ、「知識確認」の問題数が10→50に増えたうえで、必要な正答率が90%以上に引き上げられたほか、実際に車に乗って行う「技能確認」の審査も厳しくなりました。三重県警によりますと、厳格化が始まった先月に試験を受けた87人のうち、最終合格者はわずか3人でした。「知識確認」では去年1年間の合格率が87.6%だったのに対し、先月は34.4%でした。また、「技能確認」は19.7%→1.8%に急落しています



ベトナム人青年2人、遭難した日本人児童2人を 勇敢に救助

2025.08.13

NA日本支局の記者によると、8月11日午後、三重県御殿場海岸でベトナム人青年2人が日本人児童2人を救助した。危険にさらされている人々を救うために自らを犠牲にしたこの2人のベトナム人青年の勇敢な行動は、称賛と称賛の的となっている。8月11日午後、三重県御殿場海岸で、多くの人々を驚かせる出来事が起きた。海岸遊具付近で浮き輪に乗って遊んでいた日本人児童2人が、突如として強風と波にさらわれ、岸から約100メートル沖合で700メートル近くも流されたのだ。三重省政府は8月28日、この英雄的な行為を称え、表彰状を授与する。29歳のトン・マイン・トゥアンさんと27歳のファム・クオック・ダットさんを含むベトナムの若者たちの無私な精神は深い印象を残し、ベトナムの若者の勇気と優しさの美しいイメージを広めた。



会社国際人材開発YA...
ベトナム人青年2人...

出典 : <https://vnembassy-jp.org/ja/>

地域と外国人の橋渡し みえ熊野古道商工会が特定技能移行を支援

2025.09.22

紀北町のみえ熊野古道商工会は、外国人技能実習生の特定技能への移行支援に力を入れている。特定技能は2号になれば永住権を得られ、人口減が激しい地域を支える存在になり得る。一方で所帯の小さな商工会内での人員確保といった課題も。地域と外国人労働者の橋渡し役になろうと、知恵を絞る。作業台の上で、黒いプラスチック製の部品を丹念に点検する。紀北町東長島の自動車部品製造業ヤナギダ・テクノでは14人の外国人の実習生が働く。その一人、ネパール人の技能実習生3号のグルン・キラ・クマリさん（34）は通算で約5年間、ここで勤務する



部品を丁寧にチェックする技能実習生たち＝紀北町東長島のヤナギダ・テクノで